

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 BuMpY		
○保護者評価実施期間	令和6年6月3日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年6月3日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、集団療育のどちらも同日に提供している	時間配分を考え、子どもや保護者のニーズに応じた内容を検討している	マンネリ化を防ぐために、さらに療育の充実を図っていく
2	子ども、保護者のニーズに合わせた療育提供について	保護者からの聞き取り、子どもの普段の様子をしっかりと観察し、職員同士で共有している	職員の知識をさらに広げていくことで、療育内容の充実行っていく
3	具体的な支援目標の設定、説明について	個別支援計画書の具体的な提示、丁寧な説明を心がけ、提供している 職員間でしっかりと話し合い、検討している	今後も、保護者からの聞き取りや幼稚園、保育園等とも連携を図りながら統一した支援を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流について	地域と交流できる場を開拓できていない	地域の交流の場を見つけていき、地域の方に事業所のことを知ってもらう機会をつくる その後、参加できることを検討していく
2	保護者会やイベント等の実施について	開所したばかりで、時間の確保が難しかった また、事業所内が狭いため、保護者参加でのイベント等が難しい	保護者の参観日を設けていく 事業所が狭いため、ZOOM等を活用して実施を検討する 保護者向けの研修等もあれば、情報提供していく
3	災害対策について、事業所での実施内容の周知について	開所したばかりで職員の配置の関係で、1回のみできるクラスで実施したため、保護者への周知が難しかった	年に2回以上避難訓練の実施等、年間行事として組み込む また、災害時の対応についても再度、保護者へ周知を図る